

施設名	社会福祉法人久伊豆福祉会 岩槻保育園	電話	048-756-3350
住所	埼玉県さいたま市岩槻区官町2-10-3		

事例 69	タイトル	野菜を育て、おいしく食べよう	
目指す姿 (大きな目標)	パプリカ、さつまいもを育て、収穫する		
当日のねらい (小さな目標)	苗を植え、成長を観察し、楽しみにする。 また思いやりをもって育て、収穫への期待感を持つ		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年5月22日(水) さつまいも 2019年6月5日(木) パプリカ	
	場所	保育園の畑、園庭のプランター	
	資料・教材	絵本 パネルシアター	
実施内容	① 苗を植える ② 水やりをする ③ 収穫をする		
結果・参加者の反応や様子	<p>・さつまいもの苗を植え、育てる →事前に苗をつくり、苗を斜めに植え、水やりをする。時々、畑に行き、草取りをし定期的につる返しを行った。さつまいもの成長過程を絵に描いていた。</p> <p>・パプリカの苗を植え、育てる →苗をま、すぐ植え、子ども達が毎日水やりを行った。追肥は2週間に1度行った。自分達で植えたパプリカが大きく、色がついて実のり、収穫できた時は満足そうだった。自分達で育てたパプリカを野菜スタンプにしたり、後日給食で食べると嬉しそうに食べている様子が伺えた。</p>		
評価・今後の課題	苗を植え、育て、収穫することからパプリカやさつまいもの成長過程を知り、おいしく食べる時其月や食べ方を知らることができ、自然の恵みに感謝することができた。	備考	

施設名	東武保育園	電話	048-798-5632
住所	さいたま市岩槻区飯塚 624		

事例 70	タイトル	巨峰の皮を使って 絞り染めをしよう	
目指す姿 (大きな目標)	普段は食べない部分も使い次第で新たな形のものに生まれ変わるということを知る		
当日のねらい (小さな目標)	巨峰の皮を絞ったり、下準備で豆乳にハンカチを浸したりなど、普段あまり角触ることのないものに 触れることで、新たな発見に気づく		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・ <u>栄養士</u> ・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年 12月 12日(木)、18日(水)	
	場所	東武保育園	
	資料・教材	綿100%のハンカチ、巨峰の皮、酢、ビー玉、輪ゴム、不織布の生ゴミ入れ、大皿のタライ、角ハンカチ	
実施内容	12/12(木) → ハンカチの下準備 豆乳に30分浸したあと、流水で洗い、干す 12/18(水) → ハンカチの模様にするため、ハンカチを輪ゴム、ビー玉を使ってゆる巨峰の皮、酢が入ったタライに浸す。2時間つけおいたあと、流水で洗い、干す		
結果・参加者の反応や様子	下準備 → 豆乳に興味を持ち、匂いをかいだりする様子が見られた。匂いをかぐことで、牛乳との違いに気づき「豆の匂いがする」と言う子もいた。ハンカチを浸してから、ハンカチに干す時、浸す前は真っ白だったハンカチが、少し黄色になっていることに気づいていた。 ○ 絞り染め → どんな模様がかわいく、悩みながら考える様子が見られた。輪ゴム、ビー玉を使い、それぞれが工夫していた。お酢の匂いが強く、少し嫌がる子もいた。(換気することで少し和らぐ様子) 2時間後、流水で洗ってから、ハンカチをたげると、きれいな木目模様になっていて、とても喜んでいました。		
評価・今後の課題	○ 牛乳と豆乳の違いがわからない子が多かったが、実際に見て、匂いをかぐことで、違いに気づいていた。 ○ お酢の匂いを嫌がる子がいたが、「自分のハンカチを作りたい」という気持ちから、絞り染めをやらせたい子もいた。 ○ 輪ゴム、ビー玉の絞りが弱いと、模様が(は、ま)と出ないものもあった。	備考	



施設名	社会福祉法人誠東会 しらこぼと保育園	電話	048-798-4450
住所	埼玉県さいたま市岩槻区府内 2-27-48		

事例 71	タイトル	トマトを育てよう ～ボクたちがパパ・わたしたちがママ～	
目指す姿 (大きな目標)	トマトを収穫して育てることの楽しさや自分で育てたものに興味を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	子どもが自らやりたいと思うように伝える		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・(5歳児)・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年5月～8月	
	場所	保育園庭	
	資料・教材	図鑑・トマトベリー	
実施内容	「トマトベリー」の苗をいただく機会があり、「園庭で一人一人が責任を持って育てるという体験をさせたい」とスタートした。苗を植えることから始まり、成長していくトマトについて話し合いをしていく。“子どもたちがパパやママ”であり、立派に育つようお世話をすることにした。その中で、子どもたちのつぶやきや発見を観察日記にまとめ、どのように育つか疑問など共有して収穫まで取り組む。		
結果・参加者の反応や様子	5月にトマトの苗を植え、一生懸命水やりをし虫が飛んでくると追い払う様子も見られた。日々成長していく様子に興味関心を持って取組んでいた。すぐに実が出来るわけではなく、途中で飽きてしまう子もいたが、花が咲き始めると自分の花を描いて掲示した。一人一人視点が違い、掲示したことで保護者からの意見や感想も聞くことができた。実がなり始めると、子どもたちも喜びを沢山の人に伝えていた。数を数え、形の違いに気が付く子もいた。また、子どもたちの気持ちも育てる中で、トマトを育てるためにはどのようにしたら良いのか疑問ども出て、“トマちゃん会議”を開くことになった。トマちゃん会議を通して、友だちの考えや意見を聞きながらみんなで一緒に考える機会ともなっていた。トマトベリーさんに手紙を書き、アドバイスをいただいたことも一人で育てたのではなく、皆に支えられて育てることができたという感謝の気持ちも感じられた。 収穫時には、苦手だった子も家で食べたと嬉しそうにし、雨が続きトマトが水に流されていないかと心配する様子も伺えた。		
評価・今後の課題	子どもたちのつぶやきを丁寧に拾っていくことで、大人では考えられない発見や驚きがあった。つぶやきとともに、その感性や好奇心、探求心の芽生えも感じられた。一人一人価値観や感じ方も様々であり当たり前が当たり前ではないことに気付かされた。収穫をただ楽しむだけでなく、育てていく過程の中で成長していく植物への期待や喜びを味わっていた反面、育てることの大変さを感じ、枯れていく様子から“生命の終わり”を子どもたちなりに感じていた。	備考	

トマちゃん観察日記～ボクたちがパパ、私たちがママ～



「園庭で一人一人が責任をもって育てるという経験をさせたい！」という保育者の思いからスタート！保護者にも協力頂き、子どもたちのつぶやきや発見をまとめていく事にした。



どこに置こうかな？

みんなと一緒に良い子もいれば、自分の特別な場所を探す子もいた。“自分の場所”に様々な想いを感じた。



水やりを忘れてしまうこともあったが、気がついた友だちが声を掛け合い、みんなで成長を楽しんだ。花が咲き実ができて、その姿を絵にしてみた。一人一人の感性の豊かさに気がついた。



「ボクは、7個だよ。ボクだって、沢山できたよ。」



花や実を丸く描く子やとがっているように描く子など一人一人感性豊かに描かれていた。一人ひとり感じ方が違い、何度も何度も角度を変え、観察したり、感触を確かめる子もいました。



トマちゃん会議
 おうちでトマトを育ててみる
 育てるにはどうしたらいいかな？
 ・トマトがみどりいろから赤かにかわるのはなぜ？
 ・トマトの根は土の中でどうしてるの？
 ・トマトの葉っぱはなぜ緑なの？
 ・どうしてトマトは赤くなるの？
 しらこぼとほいくえん
 らいおとより

育てる中で感じたことを伝える“トマちゃん会議”を行う中で、育てることを楽しみ、収穫の喜びや達成感を感じていた反面、“終わり”と決めた子どもたちの気持ちには“命あるものいつかは・・・”という思いが感じられた。専門家の意見を聞き、トマトにとって何が一番良いのか納得したい上で最後の観察が迎えられた。

施設名	おひさま保育園 岩槻	電話	048-797-8807
住所	さいたま市岩槻区西町2-5-12		

事例 73	タイトル	レストランでクッキーづくり体験	
目指す姿 (大きな目標)	クッキーづくりを体験し、クッキングの楽しさを知る		
当日のねらい (小さな目標)	食材に触れ、クッキーが出来上がるまでの過程を学び、楽しむ		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・ <u>栄養士</u> ・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年10月16日(水) 10:00~11:00 クッキーづくり 15:00~16:00 クッキーを食べる	
	場所	隣接するレストラン「GRILL DINING V」	
	資料・教材	材料: ホットケーキミックス、砂糖、豆乳、油 器具: ビニール袋、クッキー型抜き、ラップ、クッキングシート、アルコールスプレー、手拭きタオル	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> レストランを訪問し、4~5人1組に分かれテーブルに座る。 スタッフ指導の下、ビニール袋に材料を入れて捏ねる。 生地をのばし、クッキーの型を取りクッキングシートに並べる。 スタッフにクッキーを焼いてもらう。 午後おやつにレストランにて実食。 		
結果・参加者の反応や様子	<p>レストランに行く事が嬉しかったようで、園側からレストランの厨房がみえる窓があり、朝から窓ののどき様子を気にしている姿が見られ楽しみにしている事がよくわかった。</p> <p>手拭き型抜きだけでなく生地を作るところから体験することができて楽しんでいる様子だった。おやつには再度レストランを訪れ、自分達で作った焼き上がったクッキーをみて目を輝かせていた。</p> <p>乳児クラスは幼児クラスが作ったクッキーを食べたか、お兄さんお姉さんが作ってくれたことを知ると喜んで食べていた。色は形があり、お友達と見せ合ったり、甘くておいしいと感想を伝える姿が見られた。</p>		
評価・今後の課題	<p>スタッフ指導の下、見本を見ながらクッキーづくりを体験しお友達と協力しながら参加することが出来たと思う。</p> <p>レストランという特別な場所で行う食育は子供達にとって刺激的な活動になったと思う。今後もレストランと食育イベントを企画する予定である。</p>	備考	



【コラム】さいたま市食育ナビ ①

「さいたま市食育ナビ」は、食育に関する総合的な情報の提供や、会員相互の情報交換を目的として開設されたサイトです。

食育の基礎知識、食の安全・食中毒、地産地消、学校や保育園の給食レシピなど、食育に役立つ情報を発信しています。

レシピ検索では、条件を設定して検索することができます。

<http://www.saitamacity-shokuiku.jp/>

